

令和5年度 障がい児等支援連携体制整備事業における
【上ノ国町の取り組みについて】

上ノ国町福祉センタージョイ・じょぐら



上ノ国町子ども発達支援センター



上ノ国町高齢者等健康づくり総合交流センター



上ノ国町子ども発達支援センター
副センター長 木本 優香



上ノ国町

面積 547.71km² (R5.9.30現在)

人口 4,282人



【子育てに関連した取り組み】

- ・18歳以下の医療費無料
- ・保育料、放課後児童クラブ、子ども発達支援センター利用料無料
- ・小、中学校の給食費無料
- ・小児慢性特定疾患患者等通院交通費助成

【町内の子どもを取り巻く主な施設】

◆保育所

- ・上ノ国保育所（在籍児数：89名）〈町立〉

◆学校

- ・上ノ国小学校（在籍児童数：123名）〈町立〉
- ・河北小学校（在籍児童数：24名）〈町立〉
- ・上ノ国中学校（在籍生徒数：78名）〈町立〉
- ・上ノ国高等学校（普通科）〈道立〉

◆関連施設

- ・子ども発達支援センター（児童発達支援）（在籍児数：37名）〈町立〉
- ・放課後児童クラブ（学童）（在籍児童数：89名）〈町立〉
- ・たまみずき上ノ国町（放課後等デイサービス）〈民間〉

令和5年度の取組について

- 1, Q-SACCSシートの作成
- 2, 見えた課題と対策
- 3, 教育と福祉の連携 ～『個別サポートファイル』の作成～
- 4, 今後について

■検討委員会メンバー

- ・教育（教育委員会）・福祉（介護・自立支援G職員、子ども発達支援センター、保健師）
- ・打ち合わせ回数：6回（R5年10月末現在）

見えた課題と対策

■課題

- ・ 保育所、小学校までは関係機関が集まる機会が多く連携が図りやすい。教育と福祉で情報を共有することができている
- ・ 年齢が上がっていくごとに進学、転出を機に関係機関同士のつながりも薄くなり、情報を共有することが難しくなる
- ・ インターフェイスの欄に記載した情報交換会議は、担当者が必要と判断した時に開催することが多く、その時々担当者の裁量によるところが大きい

■対策

- ・ 保育所、小学校、中学校、高校などそれぞれのライフステージごとに本人の生活状況が記録されているものがあると、就職する時や他町に転出する時などに役立つのではないか
- ・ 療育や特別支援学級に在籍している子は「個別支援計画書(個別の教育支援計画)」が必ず作成されるが、その他に生活スキルを重点的に確認できるような様式があるといいのではないか
- ・ その子が幼少期から利用した機関（保育所、学校、療育など）の協力を得て、1年ごとの成長記録を作成しファイル（個別サポートシート）に綴っていくのはどうか

教育と福祉の連携 ～『個別サポートファイル』の作成～

■乳幼児期から就労まで切れ目のない支援を継続するためのツールとして

- ・一年単位で継続していくことで、その年代の様子（得意なこと、苦手なこと）を知ることができる
- ・年齢によって「個別サポートシート」の内容（項目）を変更し、幼児、小学校低学年、中学年、高学年、中学生、高校生、それ以降など年代別にシートを作成する
- ・子どもが利用している機関に記入の協力をしてもらおう。記入後のシートは保護者が保管する
- ・理想は0歳から就労するまで利用できるファイルの作成だが、まずは、1歳から就学前まで利用できるシートを作成する

個別サポートシート（1歳～就学前）

名前

(H・R 年 月 日 生まれ)

記入日

記入者（所属・名前）

年齢	身の回りのこと	全身	手指の操作	ことば	認識（理解）	対人関係	集団参加
6.0～7.0	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムが安定し、生活の流れに見通しをもつことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 竹馬にのることができる なわとびで連続跳びや走りなわとびができる 	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆を正しい持ち方で持つことができる 手先を使った細かい作業ができる 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな理屈がわかりそれを根拠にした説明をする 自分について、名前や性別、誕生日など4つ以上のことを答えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 縦、横、斜めを理解し、さまざまな形や色を組み合わせてイメージを作りあげることができる 読み、書き、算への関心がある 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちや立場を考え、相手の過ちに対して謝罪があれば許すことができる 相手を気遣うことができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 売り手と買い手などに分かれた遊び、勝ち負けのあるゲームを楽しむ 意見を聞いて、ルールを変更しながら臨機応変に遊ぶことができる
3.0～3.5	<ul style="list-style-type: none"> ボタン、スナップを留めることができる 衣服の前後、裏表がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 長い時間歩けるようになる でんぐり返しができる 	<ul style="list-style-type: none"> 描画は丸のファンファーレが見られ、丸の中に丸や点、線を描き願らしいものを表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験したことや願望、感じたことを話すことができる 文章の復唱ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 高い、低いがわかる 1～3までの数がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ままごとで役を演じることができる 同年齢の子と会話ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と簡単な会話ができる 貸し借りができる
2.6～2.9	<ul style="list-style-type: none"> 靴を一人で履く 上着を自分で脱ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 片足で2～3秒立つ 階段は足を交互に出して登り、降りる時は一段ずつ足をそろえて降りる 	<ul style="list-style-type: none"> 真似て○を描く ハサミを使って紙を切る 	<ul style="list-style-type: none"> 「ナンデ」と含んだ問いなどが多い 二語文の復唱ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 性別（男・女）、姓名（名字と名前）、年齢を言える 赤、青、黄、緑がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 年下の子の世話をやきたがる 大人の手を借りずにやろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 「あそぼ」などと誘ったりする 見立て遊びなどを数人でする
1.0～1.2	<ul style="list-style-type: none"> コップを自分で持って飲む 手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 座った状態から自力で立ち上がる 一人で歩く 	<ul style="list-style-type: none"> 器に物を入れる 積木を2個程度積む 	<ul style="list-style-type: none"> 「ウマウマ・ブーブー」など2語言える 単語の語尾や語頭を言う（バスの「バ」など） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前を呼ばれるとわかる 簡単な言葉の指示がわかる（おいで、ちょうだいねんね） 	<ul style="list-style-type: none"> 見つけた物、欲しい物が離れた所にあっても指差して訴える 親などの後追いをする 	<ul style="list-style-type: none"> 褒められると同じ動作を繰り返す 他の子の持っている物に手を出して取り合いをする
年齢	身の回りのこと 生活	全身 運動	手指の操作	ことば 言語・認識	認識（理解）	対人関係	集団 社会性

今後について

■運用開始に向けて

- ・ 利用方法の手引き書の作成
- ・ 関係機関との運用に向けた検討
- ・ 個別サポートファイルの保護者への説明

■運用後の取り組み

- ・ 利用状況の確認と活用方法の見直し
- ・ 個別サポートファイルの利用拡大